

令和元年度 保健体育科 授業改善推進プラン

大田区立蒲田中学校

1 昨年度の授業改善推進プランの検証

(1) 成果

- ・生徒の脳と体の調和的な発達のため、コーディネーショントレーニングなどを活用した。
- ・学習カードの活用を図り、課題設定や練習内容を確認し、一層意欲的に取り組ませる。
- ・授業規律を徹底し、安心安全に授業に取り組むことができた。

(2) 課題

- ・ICT 機器を効果的に活用し、タブレットやプロジェクターなどで見本動画や自己の動画を確認してより理解を深めることができるようにする。
- ・全身持久力が低い傾向にあるため、向上のための取り組みを授業中心に行う。

2 授業改善のポイント（観点別）

(1) 第1学年

関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解
意欲的に取り組むことができるよう、主体性を大切にした授業を行う。その中で授業規律を徹底していく。	深い学びの実現のため、主体的に活動を補助することができる学習カードを作成し、自らの学習に生かせるようにする。	バランスのとれた調和的な運動能力を身に付けることができるように多様な運動経験や種目を行っていく。	実技分野だけでなく、保健分野の知識を更に定着させ、自らの実生活に生かすことができるようにしていく。

(2) 第2学年

関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解
授業規律を守り、意欲的に全員が楽しく安全に運動を行う。そのために担任と連携して指導を行いながら指導していく。	効果的な発問や学習カード等の活用を図り、仲間と協力し、工夫して課題解決に向かわせ、深い学びを目指す。	コーディネーショントレーニングを取り入れ、心身の調和的な発達を目指し、様々な身体の動かし方を体感させる。	ICT機器を活用し、視覚的に理解の深まる教材を提示するとともに、ポイントを明確にしながら確認していく。

(3) 第3学年

関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解
授業に必要な心構えや、忘れ物・見学状況の改善に必要な言葉掛けを継続して行い、積極的に参加できるようにする。	学習カードの活用を図り、自己の課題設定を明確にし、練習内容自分で選択肢ながら、一層意欲的に取り組ませる。	調和のとれた運動能力を身に付けられるように、授業で各体力項目を伸ばす補強運動や主運動に繋がる補助運動を行う。	授業内でポイントを明確に提示・説明していく。知識と技能を絡めながら運動学習ができるように工夫していく。